

読書でビジネス力をアップする(第26回)

リーダーならではの迷いを“禅語”で一刀両断に解説

2017.07.06

リーダーの禅語
栞野俊明 著
三笠書房

リーダーシップを禅の言葉「禅語」から学ぶ本です。悩み多き現代のリーダーたちがより良い仕事をするためのヒントを、禅の教えから引き出します。

禅が、仕事に役立つことはよく知られています。スティーブ・ジョブズや稲盛和夫さんなど、世界中のビジネスリーダーが「禅」を学び、仕事に生かしています。

本書は、リーダーが身に付けるべき力を、風格、育成力、平常心、行動力、信頼力の5つとし、それを習得する上で役立つ「禅語」を紹介、解説してくれます。

「禅が仕事に生きる」といっても、ビジネスパーソンがいきなり座禅を組んだり、禅の勉強を始めたとしても、うまくいくとは思えません。そもそも、禅をどこで学べばいいかわかりません。まして、禅の教えを現代のビジネスに応用するには、かなりの応用力が求められます。禅に対する深い理解と実践が必要で、一朝一夕には難しいと思われます。

その点本書は、初めからビジネスに活用することを想定して書かれています。だから、本来は深い禅の言葉が、あたかも「こわぎ」のように、即仕事に生かせるようにアレンジされています。

例えば「一笑千山青」(いっしょうすればせんざんあおし)という禅語は「リーダーは困難な直面も笑い飛ばせる強さを持つべき」と紹介されます。まるで心得集のように読めるはずですが、というわけで、経営者やマネジャーなど、職場でリーダー役を務めている人はもちろん、あらゆる局面でリーダーシップを発揮する必要に迫られている人、これから禅を学びたい人にもお勧めです。

禅の教えを実際のビジネスに即して応用… 続きを読む